

## 平成27年度 第6回豊田市商業振興委員会会議録

【日 時】 平成28年2月19日 午後1時30分～4時00分

【場 所】 豊田市役所 南庁舎3階 南31会議室

【出席者】 〈委員〉

尾碕 眞 [愛知学院大学商学部商学科教授 博士]  
服部 正雄 [元トヨタ生活協同組合 特別顧問]  
大橋 宏 [豊田信用金庫 部長 中小企業診断士]  
河原 郁子 [とよた下町おかみさん会 平成24年度会長]  
澤田 恵美子 [豊田市消費者グループ連絡会会長]  
杉田 雅子 [株式会社 杉田組 ブルーベリー事業部取締役]

〈事務局〉

原田 裕保 [豊田市産業部部長]  
寺澤 好之 [豊田市産業部副部長]  
三浦 浩 [豊田市商業観光課長]  
長江 洋一 [豊田市商業観光課副主幹]  
鈴木 啓介 [豊田市商業観光課担当長]  
寫 和典 [豊田市商業観光課主査]  
成瀬 愛 [豊田市商業観光課主事]

【欠席者】 浅井 良隆 [コンサルティングオフィス アット・ドリーム 代表]  
松永 郁也 [豊田商工会議所 常議員]

【傍聴者】 なし

【次 第】

開 会

- 1 部長あいさつ
- 2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて
- 3 委員長あいさつ
- 4 協議事項  
第2期 豊田東商店街活性化計画について
- 5 報告事項  
(1) 今後の商業方針策定にむけたスケジュールについて  
(2) ソーシャルビジネス支援事業の特例措置について
- 6 その他
- 7 連絡事項  
平成27年度 商業振興委員会開催予定 (案)

【会議録 (要約)】

- 1 部長あいさつ  
産業部部長よりあいさつ
- 2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて  
事務局より説明

### 3 委員長あいさつ

委員長よりあいさつ

### 4 報告事項

#### (1) 第2期 豊田東商店街活性化計画について

豊田東商店街から資料について説明

#### 【主な質疑応答】

##### 委員

- ・住民が多いのが強みだが、店の業種が少なく、この店で買おうという店が少ない。
- ・消費者が求めているものを掴むような勉強会をしていかないと変わらないのではないか。

##### 豊東商店街

- ・生鮮食料品店がない。利便性がいいので車で近くの生鮮食料品店へ行ってしまう。
- ・今後、野見山に生鮮食料品店もできる予定なので、加盟していただけるよう呼びかけたい。

##### 委員

- ・地域の店舗はどのくらいあるのか。

##### 豊東商店街

- ・約200店舗ある。

##### 委員

- ・美里地区は、人口が多く、強みのある地域。地元の商店街として、魅力のある商品やサービスを提供できるようにしていく必要がある。
- ・個店、商店街と地域団体の連携をはかったイベント等の仕掛けをして、商店街に入るメリットを作ってはどうか。

##### 委員

- ・商店街に入るとメリットがあると実感すると加盟すると思う。
- ・そのメリットと感じられるようなイベントや勉強会等があるといいのではないか。

##### 委員

- ・商店街の中でやれるイベントができると良い。
- ・メリットがあると組合員数が増えると思う。
- ・大型店にお客様が行ってしまう課題はあると思うが、お年寄りなど遠くに行けない方は、近所で色々なものが揃えば皆がその店へ行くのではないか。

##### 委員

- ・各個店は、売上アップなどの支援をしてくれるようなメリットのある商店街であれば、加入すると思う。
- ・何故、個店が組合に入らないのか、組合の存続意義をもう一度確認、分析し、対策を考え事業計画に組み込む。

#### 委員

- ・商店街の組合になるメリットの説得性がない。
- ・イベントに集まった人に、商品売る、イベント後に来店してもらう工夫をとる。
- ・200店舗の店があり沢山の人が住んでいるのに、消費者は、商店街のどこを支持していて、何を求めてほしいと思っているのか、それに対して経営者はどのように努力しているかの調査と分析がない。

#### 豊東商店街

- ・3年前にアンケートを実施した。問題点を捉えて試行錯誤しているが、成果は出していない。

————— 申請者退出 —————

#### 事務局

- ・メリットを打ち出す形で取組を考えていく。
- ・分析の仕方をもう少し掘り下げて事業に取組んでいくよう商店街と話をしていく。

#### 委員

- ・問題に対して焦点をあてて、そのための事業なのか、わからない。
- ・組合として何をやるか定めていかないと。

#### 委員

- ・アドバイザーもどのような人をつれてきたいのかを考えること。

#### 事務局

- ・事業計画2の商店街フェアについて。  
夏祭りイベントでは効果がみられないので、会場内でも商品売る、次の来店につながるイベントとして作成していただいた。本日皆様からいただいた意見もさらに加えていく。今後、他団体からもイベントの申請がくる予定だが、顧客獲得につながるイベントとなっているかを判断していく。

#### 委員

- ・商店街フェアは、会員だけでやるのか、この際、勧誘の意味も含めて非会員も一緒にやるのか。会員のみでこのまま細々とやっても商店街の発展や、会員数の増加に繋がらない。弾力的にどのように進めていくかを検討していただきたい。

#### 委員

- ・この商店街は、広範囲に会員が点在している。どのような取り組みが効果があるのか。

#### 委員

- ・例えば、イベントのチラシを非会員の店にも貼ってもらう。非会員がお客さんからチラシについて聞かれた際に、「商店街に加盟していないが、頼まれて貼っている。」という対応に対して、「なんだ、貼っているだけですか。」というようなお客様からの外圧的なものをかけていかないと、会員は増えない。

#### 事務局

- ・本日の意見を踏まえて、商店街に回答する。

### (2) 今後の商業方針策定に向けたスケジュールについて

事務局より説明

#### 【主な質疑応答】

#### 事務局

- ・次回の商業振興委員会までにもし施策案を作成できれば出す。

#### 委員

- ・色々なことを整理するにあたって、歳入の変化によって、より今後の商業振興施策にウエイトを持ってきて、それを考えていかなければいけないという前提で議論を進めていくのか、商業振興施策等について、スクラップアンドビルドを含めて議論していかなければいけないのか。

#### 事務局

- ・税収が落ち込む状況もあるが、第8次総合計画の中でやるべきことはやっていかないといけない。現時点では、どう捉えてということは決まっていないが、商業についても、補助金のあり方を含めて、削減と効果のある施策を考えていかないといけない。

#### 事務局

- ・将来の歳入の変化に対して、どの施策をどこまで実施するのかは市の中で議論になる。将来の歳入を見込んで実施可能なものかどうかのフィルターがかかる。
- ・どちらかを選択しないといけない場合は、委員の皆様にご審議いただきたい。
- ・法人市民税が減っていくのは、構造的な話になってくるので今後じわじわくる。

### (3) ソーシャルビジネス支援事業の特例措置について

事務局より説明

#### 【結果】

- ・足助、稲武の2事業については、特例で1年間の延長を認める。
- ・条件として、引き続き中小企業診断士を入れ、採算性に向けて努力すること。
- ・市も、今後の方針について考えていく。

#### 委員

- ・ランニングコストの中で人件費をあてにして補助をしていたのでは1年間延長しても変わらない。しっかり経営、運営努力していただかないといけない。